

朝日東地区夏休み子どもサロンでの 学生ボランティア活動を紹介します！

例年にない酷暑が続いた今年の夏ですが、今回は朝日東地区夏休み子どもサロンで活躍している学生ボランティアを取材しました。2017年からスタートしたサロンは今年で7回目を迎え、延べ165名の学生たちがボランティアとして、活発に活動している様子がみられました。

～学生ボランティアの声～

- 小学生の時に参加をしていて、中学生になり今度はボランティアとして関わりたいと思い、参加しました。
- 学校でボランティア募集を見て初めて参加しました。教えるのは難しいが楽しみたいです。
- 将来の道を考えるために、現在、さまざまな分野でボランティアを体験しています。今回は子どもと関わる活動を経験したいと思い参加しました。
- ボランティアの経験はないけれど、子どもが好きなので参加しました。

～活動の様子～

公民館に着くと、子どもたちの元気な声が飛び交っていました。

そして、中・高校生の多くのボランティアが、サロン運営に関わっており、小学生に夏休みの宿題や、算数の問題を寄り添いながら一生懸命教えています。また、一緒にゲームを楽しんでいるグループもみられました。

調理室では、昼食の準備に余念のない大人たちと一緒に、料理に興味のある学生が大人たちに教わりながら炒飯作りに真剣に取り組んでいました。



▲昼食の炒飯を作っている様子



▲学習支援の様子

～見学レポート～

家庭・学校・地域の人たちが、「一緒に学ぶ」「教えることは学ぶこと」を実践しています。子どもたちの中に地域を愛する気持ちが自然に育まれていくように、これからもこのような地道な活動が続いて欲しいと思います。

朝日東地区夏休み子どもサロンとは…

「教えることは学ぶこと」「家庭でしつけ、学校で学び、地域で育てる」をテーマで、小学生を対象に夏休み期間中、全10回の日程で開催。実施主体は朝日東地区社会福祉協議会。

川口市青少年ボランティア大会 を見学してきました

8月25日、夏休みにさまざまなボランティアプログラムから、自分が参加したい体験を選ぶ、青少年ボランティアスクールの発表の場として、「川口市青少年ボランティア大会」が4年ぶりに開催されました。

修了証が「夏休みこどもボランティアサロン」「青少年ボランティアスクール」の代表者に市長から手渡されたあと、活動の感想文が発表されました。



▲会場の様子



日本に原子爆弾が落とされ、多くのぎせ
い者が出たことを知り悲しかったです。
原子爆弾について調べ、強さや形など知
れました。平和な社会になってほしいと願
っています。

「夏休みこどもボランティアサロン」に参加
(小学生)



盲導犬が行きわたり、誰もが安心して暮らせる社会になってほしいです。
これからもボランティアに参加して地域の人を笑顔にできるようにしたいです。

「川口市視覚障害者福祉協会」
ボランティアに参加 (中学生)



もの作りやポスター作りなど自分に合った作業をすることができました。
いろいろな人との交流により、達成感を味わうことができました。

「前川プレイリーダーハウス」
ボランティアに参加 (高校生)



盆踊りが好きで「たたら祭り」の流し踊りの指導をしました。当日はみんなと踊れてとても楽しかったです。
これからも地域の伝統を伝えたいです。

「川口市スポーツ少年団」
ボランティアに参加 (大学生)

○体験発表

「川口手話サークル友の会」で手話体験をしたかた、会のメンバー、会場の全員で「サザエさん」のテーマソングに合わせて手話コーラスを行い盛り上がりました。

まちで私たちをみかけたら
手話でも身ぶり手ぶりでもいいので、声をかけてください！



▲手話コーラスの様子

ぼらんていあ川口編集員 文責



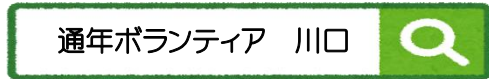
ボランティア広場



通年ボランティア 参加者募集！

「夏休み期間以外にも、ボランティア体験をしたい！」という青少年のみなさまにお届けする体験プログラムです。全12コースから、自分にあった体験を選んで参加してみよう！

詳細はホームページをご覧ください♪



※上記の二次元コードから申し込んでね！



～開催報告～

◆ボランティア体験講座

9月28日（木）にボランティア体験講座を開催し、当日の参加者は20名で、ボランティアの心構えなどを学びました。その後、自分で選んだボランティアを体験しています。今後、継続して活動することに期待したいです。



▲個別相談の様子



▲講座の様子

◆ボランティア見本市

10月7日（土）にボランティア見本市を開催しました。今年度は、昨年よりもボランティアブースが多く、ステージが復活したことにより盛り上がっていました。また、ボランティア体験ブースでは、子どもたちが一生懸命にボランティアに取り組み笑顔をみせていました。

どんぐりステージの様子▶



◀盲導犬体験の様子

編集後記

ボランティアを始めるきっかけはさまざまです。今回は青少年のボランティア活動をする様子を取り上げました。

家庭・学校・地域が一丸となって子育て支援をしている中で、学生たちにもその精神がしっかりと受け継がれていることを感じました。

これを持続可能にするためには、事後のフォローアップが重要と考えます。

ボランティアは人と人とが豊かにつながる場を与えてくれると思います。

(ぼらんていあ川口 編集員 Y.D)